

第 19 回議会報告会 報告書

地 域 名	養父地域		
年 月 日	平成 31 年 4 月 23 日 (火)	会 場 名	大塚コミュニティセンター
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 00 分
参 加 数	男性 19 人	女性 5 人	合計 24 人
班 長	田路 之雄	司 会 者	田路 之雄
報 告 者	津崎 和男	書 記	深澤 巧
班 員 名	田路 之雄、津崎 和男、深澤 巧		
市 民		対 応	
報告に対する質疑	① 文化会館の事業費 44 億円の中に橋を新設する話は含まれているのか。ランニングコストも心配である。	① 土地、建設費、解体費の総計である。橋を新設する話は聞いていない。	
	② 養父市場内のグンゼ跡地の活用の考えはあるのか。	② 養父幼児センターが新設された。残っている部分については解体中であり活用策は聞いていない。	
	③ 小規模谷止め対策について治山関係は県の事業ではないのか。	③ 市独自に小規模な谷川の土砂止め工事を実施する。	
	④ パートナーズについて今後の見通しは。公共的な投資効果は期待されるが、赤字補てんが続くことはまずい。	④ 3 年を期限に経営委託料を年に 2,400 万円出し、債務の返済や事業の整理を行っている。9 月には 2 年間分の決算も明らかになる。議会も検証していく。	
	⑤ 「道の駅 やぶ」が休業になった。養父の錦鯉に関する一般質問もあった。この地域の振興についての考えはあるのか。風紀、防犯についても心配頂きたい。	⑤ レストランの再開について具体的な話はない。国会でも「錦鯉を国魚に」という議員連盟が発足している。地域の宝をもう一度光を当てる知恵や工夫を議論していくきっかけにしたい。	
	⑥ 長期欠席議員の取扱いはどうなのか。	⑥ 報酬特例の条例を 3 月議会で制定した。議員報酬の全額削減や強制的に辞職を迫ることは法的にできない。該当議員については、政治家としてけじめをつけるべきである、との議長の忠言を行っている。	

市 民		対 応
意見交換会 での質疑	① 欠員は1名である。議員の定数を減らす議論は出てこないか。	① 報酬と定数は今年の12月をめどに方針を示していきたい。議会モニターからの意見聴収や委員会での参考人招致などで市民意見を充分お聞きしたい。
	② 養父小が緊急避難所に指定されているが、米地橋を通らなければならない。市に再検討を要望している。議会でも避難について議論を重ねてほしい。	② 災害が多発している。地区の防災計画や避難所の開設運営マニュアル策定や訓練が必要と思う。
その他 (提言など)	① 防犯カメラの設置事業を充実されたい。 ② 社協に対する補助金を充実させてほしい。 ③ 住みたいランキングはポイントを上げるための施策になっていないか。 ④ 区長のなり手不足について、区長業務の削減が検討できないのか。 ⑤ 養父のこども園はこの春に新規入園希望者は2人しかいなかった。地域のこども園に入園児が増えるように、若者の働く環境づくりに尽力してほしい。	①から⑤について、ご意見としてお聞きする。
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和元年5月10日

報告者 4班 班長 田路 之雄

